



# ケア・カウンセリング 通信

vol.

45

発行：日本ケア・カウンセリング協会 <http://www.npojcca.org/> 協会郵便振込口座 00110-7-147466  
編集：〒112-0013 東京都文京区音羽1-6-8 音羽小峰マンションズ1階  
TEL&FAX:03-6912-2605 E-mail:npo-jcca@npojcca.org

2013年1月発行

## 「物言わぬ人」とケア従事者はいかに関わるか？

～ケア・カウンセリングの視点から～

代表理事 品川 博二

脳血管障害や重度の認知症によって遷延性意識障害(様状態)を呈した患者が、いわゆる「物言わぬ人」としてケア従事者の前に現れることがある。コミュニケーション能力が極度に低下したり、あるいは喪失した患者に、ケア従事者はいかなる「交流」をもつことが可能だろうか？

一般に遷延性意識障害のケアリングは、現在でも有効な対処法が確立されておらず、積極的なリハビリテーションの対象としても必ずしも優先度が高くない。実のところ、「物言わぬ人」への関わりは、その手応えの無さから、モチベーションが上がらないのがケア従事者のホンネであろう。しかし、家族の熱心な働きかけによる(たとえ一瞬でも)「奇跡的な」回復事例やケア従事者による日常生活動作を基盤にした感覚賦活の効果が報告されている。そして最近では「両足を床に着け、背中を開放させて座る」背面開放端座位ケアにより、改善した脳血管障害の症例も学会で注目を集めている。今回は、これらの客観的アプローチと並行して、「癒し癒される」ケア・カウンセリングの視点から、この「物言わぬ人」との交流のあり方について検討したい。

端的に述べれば、「物言わぬ人」に対峙した時の、ケア従事者としての私たちの拠り所は、その患者の存在に呼応する私たち自身の<痛み>を、患者家族・同僚スタッフらといかに共有化できるかにあると思われる。働きかけに呼応しない「物言わぬ人」に対して、私たちは困惑し、行きづまり、時にやり場のない憤りすら覚えることもあるだろう。しかしながら、自分と同様な体験している患者家族やケアの「仲間」とその<痛み>をシェアリングできた時、私たちに気づくことがあるはずだ。

私たちはケア従事者としての自分の原点を、「他者とのリアルな共同性」(の場)に求めてきた。だからリアルな手応えの無いケア関係では元気になれない! 「物言わぬ人」の存在は、私たちのケアリングが、そのリアルさに依拠する故に、限界に突き当たっていることを鋭く突き付けているのだ。

確かにリアルな空間での「私とあなた」の二人称のケアは、患者からの手ごたえを実感できる場面だ。時には患者から直接の肯定メッセージを貰えることもあり、私たちケア従事者には最もアイデンティティを確認できるステージである。この「呼びかけ、呼びかけられるリアルな関係」、すなわち<エロスの空間>こそ、母子関係を原型に求めるケアリングの原点であろう。しかしながら「物言わぬ人」と対峙する時、プロとしてのケア従事者の視野は、この<エロスの空間>の二人称を拡張しなくてはならないのだ。まさに、「物言わぬ人」は私たちケア従事者に、二人称から三人称へのケアリング・モードの変換を求める存在なのである。

ここでいう<エロスの空間>とは、信頼できる他者との「今、ここで」の相互作用の場である。この空間で、私たちは相互に存在を受けとめ合い、「自分は生きていて良いのだ!」という肯定メッセージを味わう。これが「他者との共同性」のリアルな<エロスの空間>の意義に他ならない。しかしながら、私たちの存在はもうひとつ別の原理でもサポートされている。それが<ロゴスの時間>である。

この<ロゴスの時間>とは、過去を反省し、未来を予測し、現在を選択するという、自己の時間的戦略をコントロールする。その方法は他者と共有化する「言葉」にサポートされている。「物言わぬ人」の前に立てば、その方は私たちに豊かに「言葉」を投げかけてくるかもしれないのだ。それは、NET研修生の山崎あきら(敬称略)の言葉を借りれば、以下のメッセージである。

「お前一人では担えないだろ! 仲間と協力しなさい! 他者の力を借りなさい!」

これらのメッセージは、私たちが「物言わぬ人」と対峙した時、心の内から静かに聞こえてくる「言葉」だ。

その「言葉」に耳を傾けた時、自己表現の手段を奪われた彼らの無念さが私たちに訪れるだろう。「自分が癒されたい」との私たちの「甘え」は「物言わぬ人」の叫びで打ち破られる！そして彼らの悔しさは、ケア従事者の「痛み」の内に再現されることがあるのだ！それは、＜エロスの空間＞から＜ロゴスの時間＞へのモード・チェンジの時への私たちケア従事者の覚悟でもあった。

この時大切なのは、この「心の声」を自分一人の思い込みに留めてはならないことである。「心の声」という主観体験を、「物言わぬ人」からのメッセージという共有体験に再構築するには、ご家族・その方の友人、そして臨床の仲間とのシェアリングが必要なのである。「物言わぬ人」の家族や友人から、改めてお元気だった時の様子をうかがう。特にどのような希望や志をもっていたかを尋ねる。そして共に関わるケア従事者の仲間の「痛み」をシェアリングする時、モニタリング・データの奥に「物言わぬ人」のメッセージを再現することができるだろう。最後に「物言わぬ人」があなたに「私の言葉を聞いてくれて、ありがとう」と言ってくれるかもしれないのだ。

(完)

## 第13回 総会報告

2012年11月18日に大阪(クロス・ウェーブ梅田)にて第13回総会が開催されました。全国各地から70名の会員の皆様が集まり和やかな時間と空間を共有することができました。

午前の部では、品川代表理事の基調講演と熊坂伸子氏との特別対談が行われました。

品川代表理事による基調講演では、「いじめの構造 / 傍観者という犯罪」をテーマに「いじめ」は、二人称の暴走で社会病理行動として現象する。いじめる者は、暴力でしか表現できない未熟な葛藤があり、その葛藤を相手に投影し同一化している。との内容で、「カウンセラーは、二人称の関わりで受け止め、三人称で返すプロ意識を持つこと」との言葉がとても深く心に響きました。

特別対談では、岩手県普代村教育委員会教育長の熊坂伸子氏による「今、“いじめ”を考える」をテーマに教育現場の現状を語られました。熊坂氏は、いじめに対する子どもと学校と保護者の認識のズレがあることを語られ、いじめ予防の取り組みや予算措置を国に人員総員を県に要請されるなど様々な活躍をされておられ「今は、お互いが見えないから悪い視点のみがフォーカスされる」との言葉に教育現場の閉鎖的な厳しさとジレンマを感じました。教育現場の話をついて各々の会員が様々な質問をし、それに対して丁寧に応答して下さい品川代表理事や会員との熱い意見交換が行われました。

教育現場では、その他の課題が山積みで今後の日本を担う子どもを育成するために全力を尽くされる熊坂氏の姿勢に感銘しました。

午後の部では、功労賞表彰式と議案提出(予算、決算)・その他報告、「いじめ」についてのレクチャー・フォーラムが行われました。

協会功労賞には、団体で赤穂市民病院支部が表彰されました。

各議案については、東日本大震災・復興支援に向けてのサポートの継続、ケア・カウンセラー養成制度の資格要件の再整備、認定講師養成の整備、沖縄における協会の発展、会計報告、その他の報告があり会員の拍手をもって承認されました。

引き続き「いじめ」についてグループ毎に議論し、グループリーダーが選出されシンポジウムが行われ活発な意見や体験談が語られ有意義な時間と空間を過ごせました。

前日のプレゼミでは、「行動形成法における脳科学的治療モデルの検討」をテーマに品川代表理事が講演され、8グループに分かれ同時進行で行動形成法を行いメンバーとシェアし感動と気づきの体験でした。

また夜には、懇親会も開かれ東北メンバーの歌も披露され和やかで楽しい時間を過ごすことができました。

今後も協会活動が社会のニーズに合わせ貢献できることを誇りに思うと共に目的志向の仲間の存在がいることに勇気と元気をいただくことを切感した2日間でした。

文末になりましたが、開催にあたり事務局の皆様をはじめ関西エリア会員の皆様や各会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。

(関西エリア理事 原田真由美)



品川先生と熊坂先生対談



レクチャーフォーラム

## 議案1

東日本大震災・復興支援に向け、「東北支援・協会プロジェクト」の自立的継続的な活動の為、「東北支援基金」をもうける。

- サポート会員(¥3,000/年)を、非会員を含めて募る。  
サポート会員は、協会の利用会員として扱う。  
サポート会員には、1,000円の優待チケットを進呈。
- 各研修会場等での募金の他、研修収益の一部を基金に活用する。
- 今後とも助成金獲得を継続的に社会・企業に働きかける。

## 議案2

社会事業として、盛岡にて「心の訪問ケア」プロジェクトの試行モデルの実験。

- ① 「心の訪問ケア」(傾聴ボランティアの派遣)実行委員会を設置する。
- ② 協会主催「盛岡ケア・カウンセリング専門講座」で、継続的に「傾聴ボランティア」を養成する。  
→ 試行的に実行主体として「盛岡ケア・カウンセリング研究会」を設置。2013年4月より開始する。  
→ もりおか復興支援センターにてケア従事者を対象とした「行動形成法外来」を開設する(協会よりケア・カウンセラーを派遣)。
- ③ 修了生の中のケア・カウンセラー取得者に対して、「傾聴ボランティア」派遣を行う。
- ④ 地域の訪問看護ステーション等、関係諸団体等と連携を取り、訪問ケア、在宅ケア事業のカウンセリング的サポートを試みる。

## 議案3

行動形成法研修委員会(行動形成法研究会)の設置

- ① 行動形成法の全国的展開の基本的戦略センターとして、専門委員会を設置する。
- ② 外部の専門家の積極的な参加を得る為、「行動形成法研究会」を併置する。  
→ 行動形成法研究会は、ケア・カウンセラー有資格者と外部の専門家により構成。  
→ 外部の専門家:医師、臨床心理士、精神保健福祉士、専門看護師等、法的に守秘義務を負うケアリング専門家。

## 議案4

ケア・カウンセラー養成制度の資格要件の再整備。

- ① 基礎課程初級・中級・上級各級の必修①②③の計72単位(8単位×3回×3回)を取得した者(必修終了)に、ケア・カウンセラー4級の受験資格を認める。
- ② 基礎課程修了(必修(72)+選択(48)+ワークショップ(42)+実習科目の合計単位(162単位以上)を取得した者に、ケア・カウンセラー4級の書類選考(筆記試験免除)の審査を認める。  
→ 「実習科目」は、必修、選択、ワークショップの単位に読み替え可能である。
  - A. 試行カウンセリング(27単位)、
  - B. 行動形成法ワンデイ・セミナー(8単位)
  - C. セルフ・ケース検討会(参加4単位、事例提供者8単位)
  - D. 行動形成法セッション(4単位)、
- ③ なお、「科目にこだわらず合計105単位」で、ケア・カウンセラー4級筆記試験の受験を認める臨時措置は、当面継続する。

## 議案5

### 認定講師養成の整備

- ① 全国各エリアに認定講師(認定助講師等各レベルを含む。以下同じ)を一定数配置し、所定の権能に応じて公開講座・エリア・ミーティング等の研修活動を展開できるように努めたい。
- ② 認定講師は今後4年間に全国で14~30名程度の配置を想定する。
- ③ 認定講師の養成は協会指定臨床・研修機関である日本ケア・カウンセリング研究所(所長 品川博二、以降、研究所という)に委託する。
- ④ 研究所は認定講師任用資格の養成・審査を行い、基準を満たした者を認定講師候補者名簿に登録する。
- ⑤ 協会代表理事は研究所の提出した認定講師候補者名簿から適時必要に応じて認定講師の採用を行う。

## 議案6

### 今年度決算書・次年度予算案

- \* 予算案、決算書は別紙報告

## 総会への報告

(以下、団体・個人とも敬称略)

## 報告1

東日本大震災、「東北応援ツアー」を実施しました。

6月9日、協会有志と現地の支援者の協力で、「被災地訪問ツアー」が開催されました。これは昨年の東京総会で、被災地の会員から「ともかく、自分の足で被災地を歩いて欲しい」との悲痛な声にこたえるために企画されたものです、全国から36名の参加者を得て、有意義に行われました。

## 報告2

### 東北支援プロジェクト・「災害支援特別研修講座」の開催

公益財団法人三菱商事復興支援財団(250万円)様より災害支援助成金を得て、「東北支援協会プロジェクト」として、「災害支援研修講座」を展開(含む予定)いたしました。

- ① 「災害ストレスとケア・カウンセリング」(支援者への研修サポート)  
仙台・盛岡・宮古の各地で、来年3月まで継続中。
- ② もりおか復興支援センターに支援講座「支援者の為の心理技術研修講座」を協会の支援にて開設(講師・スタッフの無料派遣)。センター専属スタッフ及びボランティアに対して連続研修を実施中。

## 報告3

### ケア・カウンセリング協会表彰

- ① ケア・カウンセリング協会功労賞(5万円)  
(団体) 赤穂市民病院看護部(行動形成法研究会)  
→ 生活習慣病への行動形成法の適用の実践。
- ②(個人) 該当者が辞退された為、本年は、個人表彰は無しといたします。

### 沖縄におけるケア・カウンセリングの展開

5/18	沖縄オストミー協会講演	9/10	沖縄北部福祉保健所講演
5/18	那覇市立病院講演	10/6	沖縄南部友愛病院講演
5/19	豊見城総合病院講演	10/6-7	行動形成法・沖縄ワークショップ実行委員会
5/19	沖縄労働福祉協会講演	委員長	友利寛文(那覇市立病院外科部長)
5/20	沖縄「愛さん会」講演	顧問	保坂 隆(聖路加看護大学臨床教授)
9/8	ケア・カウンセリング講演会	講師	品川博二(日本ケア・カウンセリング協会代表理事)
	共催、沖縄「愛さん会」、後援・那覇市社会福祉協議会・(株)琉球光和	後援	沖縄県看護協会す。

### 栃木県看護協会における「新人看護職研修」事業

本年7月より8回に渡り、栃木県における新人看護職研修を、品川講師他、小川美智子・脇坂三位子認定助講師、相澤久美認定講師補、根本亜紀、前川弘子さんらの協力で行った。

### 行動形成法の新たな展開

- 1、「沖縄がん心のケア研究会」  
(保坂先生、友利先生、協会参与 豊見山喜美さん)  
→ 10月6日～7日、沖縄ワークショップに、「沖縄がん心のケア研究会」の皆さんの全面的なご協力で、35名(医師7名)が参加され行動形成法セッションが行われた。  
→ 品川講師の他、村上則子認定助講師、須田ちひろ・小林信子認定講師補他、10名以上の本土からの会員が参加された。
- 2、赤穂市民病院・行動形成法研究会  
→ 糖尿病療養指導士を中心に、赤穂市民病院看護にて研究会を結成。  
2012年9月より、患者さんの参加を得て、毎月のセッションを開始した。

### 下の団体に協会認定講師およびスタッフを派遣しました。

1. 北海道看護協会、栃木県看護協会・「新人看護職員研修」、千葉県看護協会(新人看護職員担当者研修)、岩手県看護協会(セカンドレベル)、宮城県看護協会、静岡県西部地区看護代表者会
2. 札幌医大看護部(看護師長研修)、札幌学院大学(社会連携センター)、沖縄南部院、横浜船員保険病院、赤穂市民病院(新人看護職員研修)、岐阜市民病院、名古屋協立総合病院
3. 宮城がん総合支援センター、野田市保健センター、松戸保健福祉センター、旭川立病院、和歌山県御坊市役所、山形県鶴岡市役所、戸田中央看護専門学校、那覇市立病院、豊見城総合病院、沖縄北部福祉保健所
4. 宮城県介護研修センター、千葉県社会福祉協議会、群馬県社会福祉協議会、千葉県さんむ市社会福祉協議会、千葉県福祉プラザ講座
5. 神奈川県介護福祉士協会、千葉県鴨川市ケア・マネージャー連絡協議会、秦野市ホームヘルパー協会、千葉県臨床工学士会、千葉県茂原介護福祉施設研修、公益財団・山口県ひとづくり財団
6. 沖縄県労働者福祉協会、介護なんでも文化祭(東京)、介護すまいる文化祭(仙台)
7. 「沖縄がん心のケア研究会」、沖縄「愛さん会」(厚労省ファミリーサポート)、日本オストミー協会(盛岡、広島、沖縄)、浦安訪問看護研究会他
8. (財)田中教育研究所

以上

# 会計監査報告書

## 平成23年度 特定非営利活動に係わる事業会計決算書

平成23年10月1日から平成24年9月30日まで

科 目	金額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員年会費	4,023,000	4,023,000
2 事業収入		
研修事業収入	8,766,920	
登録審査料	150,000	
登録料	121,000	
更新料	189,000	
書籍売上	412,870	
CD売上	36,000	
雑収入	1,815	
カウンセリング利益収入	10,000	9,687,605
3 特別収入		
総会参加費	495,000	
東北支援金収入	178,741	
三菱商事震災助成金	2,500,000	3,173,741
当期収入合計		16,884,346
前期繰越金		9,175,762
収入合計		26,060,108
II 支出の部		
1 事業費		
通信発行費	355,776	
研修事業経費	9,089,613	
書籍仕入高	317,000	
期首書籍等棚卸高	309,800	
期末書籍等棚卸高	△ 476,400	9,595,789
2 業務経費		
① 特別費		
総会開催費	340,564	
東北支援金からの支出費	16,600	
助成金からの支出費	3,014,669	3,371,833
② 事務局費		
地代家賃	675,000	
人件費	2,524,400	
法定福利費	27,437	
旅費交通費	297,100	
通信費	374,797	
事務用品費	118,585	
パソコン関係費	31,030	
支払手数料	33,650	
商標権償却費	87,384	
減価償却費	99,854	
外注費	180,090	
水道光熱費	173,387	
保険料	9,525	
ボランティア諸経費	16,200	
雑費	50,000	4,698,439
当期支出合計		17,666,061
当期収支差額		△ 781,715
次期繰越収支差額		8,394,047

## 平成23年度 特定非営利活動事業 財産目録

平成24年9月30日作成

科 目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
流動資産		
銀行預金	2,348,123	
郵便振替口座	14,680,603	
現金	450,802	
郵便貯金	1,604,483	
音羽事務所 敷金	225,000	
前払費用	130,550	
商品 (CD)	158,400	
商品 (書籍)	318,000	
仮払金	72,430	
器具備品	572,176	
商標権	433,858	
資産合計		20,994,425
II 負債の部		
未払金	1,170,835	
預り金	1,277,774	
源泉分預り金	3,530	
仮受金	1,815,871	
前受金	8,332,368	
負債合計		12,600,378
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	9,175,762	
当期正味財産増加額	△ 781,715	
正味財産合計		8,394,047
負債及び正味財産合計		20,994,425

## 平成24年度 特定非営利活動に係わる事業会計予算書

平成24年10月1日から平成25年9月30日まで

科 目	金額 (単位:円)		内 訳
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員年会費	4,000,000	4,000,000	8000*500
2 事業収入			
研修事業収入	8,000,000		
登録審査料	118,000		5000*10+8000*6+10000*2
登録料	100,000		5000*20
更新料	60,000		3000*20
書籍売上	200,000		
雑収入	5,000	8,483,000	
3 特別収入			
総会参加費	330,000	330,000	5,000*66
当期収入合計		12,813,000	
前期繰越金		8,394,047	
収入合計		21,207,047	
II 支出の部			
1 事業費			
通信発行費	480,000		120,000*4
研修事業経費	8,000,000	8,480,000	
2 業務経費			
① 特別費	250,000		
総会開催費	1,700,000	1,950,000	
助成金からの支出費			
② 事務局費			
地代家賃	600,000		パート2人分
人件費	2,400,000		雇用保険ほか
法定福利費	30,000		
パソコン関係費	10,000		通勤費
旅費交通費	250,000		電話、郵便 宅急便
通信費	350,000		コピー用紙・封筒ほか
事務用品費	100,000		家財保険
保険料	10,725		税理士、ホームページ更新他
外注費	160,000		電気・水道代
水道光熱費	170,000		商標権取得費を10年で償却
商標権償却費	87,384		パソコン・プロジェクター償却
減価償却費	99,854		
支払手数料	20,000	4,307,963	
雑費	20,000		
当期支出合計		14,737,963	
当期収支差額		△ 1,924,963	
次期繰越収支差額		6,469,084	

平成23年度における日本ケア・カウンセリング協会の会計監査を行った結果、適正かつ公正なる会計処理を行っていることを報告いたします。

平成24年11月12日

会計監査監事

脇坂 三位子



須田 ちひろ



# 2013年2-5月 ケア・カウンセリング研修予定

研修予定は変更の場合もあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

研修予定は変更の場合があります。協会ホームページ<http://www.npojcca.org>でもご確認ください。基礎・専門課程にかかわらず、すべての研修が受けられます。  
※ワークショップの場合参加費29,000円のうち宿泊費(1泊2食込)にあたる15,000円は事前にお振込みが必要です。研修費14,000円分を研修チケットでご利用ください。

日時	場所	課程	科目	研修名	会場	単位	参加費	申込 事前振込 締切
2月9日(土)10:00~16:00 2月10日(日)10:00~16:00	佐賀	共通	選択	日帰り行動形成法ワークショップ	ほほえみ館	16	¥16,000	2/1
2月16日(土)10:00~16:00	盛岡	共通	選択	ワンデイセミナー『黄色いバケツ』	岩手県公会堂	5	助成事業 により無料	2/8
2月16日(土)16:30~18:30	盛岡	専門	実習	セルフケース検討会	岩手県公会堂	2	¥2,000	2/8
2月23日(土)10:00~16:00	札幌	共通	選択	ワンデイセミナー 「ステキな金縛り」の物語分析	札幌医科大学保健医療学部602号室	8	¥8,000	2/15
2月23日(土)16:30~18:00	札幌	専門	実習	行動形成法セッション	札幌医科大学保健医療学部602号室	4	¥4,000	2/15
2月24日(日)10:00~16:00	札幌	基礎	必修	上級I「他者を観察し自己に気づく」 自他境界の心理学	札幌医科大学保健医療学部602号室	8	¥8,000	2/15
2月26日(火)18:30~20:20	東京	共通	選択	東京市民講座「自立と孤独の心理学」	がんばれ!子供村	2	¥2,000	2/19
3月2日(土)15:00~ 3月3日(日)12:00	赤穂	共通	選択	行動形成法ワークショップ	かんぼの宿 赤穂	14	¥29,000	2/15
3月9日(土)10:00~11:30	大阪	共通	選択	年次大会	大阪市立総合生涯学習センター 梅田第二ビル5階 第4研修室	2	無料	3/1
3月9日(土)13:00~16:00	大阪	共通	選択	公開講座「発達障害」		3	¥3000 支部会員2000	
3月16日(土)10:00~12:00	岡山	専門	実習	行動形成法セッション	岡山市福祉文化会館 研修室	4	¥4,000	3/8
3月16日(土)13:00~16:00	岡山	共通	選択	公開講座「いじめ」と体罰の心理構造	岡山市福祉文化会館 研修室	4	¥4,000	3/8
3月19日(火)18:30~20:20	東京	共通	選択	東京市民講座 「相手の「痛み」を受けとめる」	がんばれ!子供村	2	¥2,000	3/12
3月22日(金)10:00~17:00	千葉	共通	選択	脳科学から見た認知症 デフォルト・モード・ネットワークの視点から	千葉県社会福祉研修センター	9	¥9,000	1/18
3月23日(土)10:00~16:00	仙台	共通	選択	ワンデイセミナー「切なさの心理学」	仙台青年文化センター	5	助成事業 により無料	3/15
3月23日(土)13:00~16:00	東京	共通	選択	首都圏エアフォーラム「傾聴レッスン」	音羽協会本部	1	¥1,000	3/15
3月24日(日)10:00~16:00	盛岡	共通	選択	ワンデイセミナー「シェアリング法」	岩手県公会堂	5	助成事業 により無料	3/15
3月24日(日)16:30~18:30	盛岡	専門	実習	セルフケース検討会	岩手県公会堂	2	¥2,000	3/15
3月30日(土)10:00~16:00	横浜	共通	選択	ワンデイセミナー「ケアに活かす歎異抄」	ウイリング横浜	8	¥8,000	3/22
4月5日(金)10:00~16:00	群馬	共通	選択	ワンデイセミナー「ケアに活かす歎異抄」	高崎市総合福祉センター	7	¥7,000	3/29
4月7日(日)13:00~16:00	東京	共通	選択	公開講座「自己分析の理論と方法」 (正会員のリピーターは無料)	がんばれ!子供村	4	¥4,000	3/29
4月12日(金)10:00~17:00	千葉	共通	選択	夢分析の方法	千葉県社会福祉研修センター	9	¥9,000	4/5
4月16日(火)18:30~20:20	東京	共通	選択	市民講座「寄り添うための心理学!」	がんばれ!子供村	2	¥2,000	4/9
4月19日(金)18:30~20:20	札幌	共通	選択	札幌市民講座 「対人トラブルはなぜ起こる?」	札幌学院大学社会連携センター	1	¥1,000	4/12
4月20日(土)10:00~16:00	札幌	共通	選択	ワンデイセミナー「夢分析」	札幌医科大学保健医療学部予定	8	¥8,000	4/12
4月20日(土)16:30~18:00	札幌	専門	実習	セルフケース検討会(会員限定)	札幌医科大学保健医療学部予定	4	¥4,000	4/12
4月21日(日)10:00~16:00	札幌	基礎	必修	上級II「他者を理解し自己を高める」 他者受容の心理学	札幌医科大学保健医療学部予定	8	¥8,000	4/12
4月27日(土)10:00~16:00	東京	共通	選択	行動形成法 心理分析演習	がんばれ!子供村	8	¥8,000	4/19
5月4日(土)10:00~16:00	東京	専門	実習	ケア・カウンセリング・カレッジ 「自己分析の方法」	がんばれ!子供村	8	¥8,000	4/26
5月5日(日)13:00~16:00	東京	共通	選択	公開講座「自己分析の理論と方法」 4/7と同じ講義(正会員のリピーターは無料)	がんばれ!子供村	4	¥4,000	4/26

日時	場所	課程	科目	研修名	会場	単位	参加費	申込 事前振込 締切
5月10日(金)10:00~17:00	千葉	共通	選択	「いじめ」と体罰の心理構造	千葉県社会福祉研修センター	9	¥9,000	5/3
5月14日(火)18:30~20:20	東京	共通	選択	人間関係を元気にするには?	がんばれ!子供村	2	¥2,000	5/7
5月18日(土)10:00~12:00	佐賀	共通	選択	九州エリアフォーラム	メートプラザ佐賀	2	¥2,000	5/10
5月18日(土)13:00~16:00	佐賀	共通	選択	公開講座「ストレスにサヨナラ」	メートプラザ佐賀	4	¥4,000	5/10
5月19日(日)10:00~16:00	佐賀	基礎	必修	基礎講座「対人関係論①」	メートプラザ佐賀	8	¥8,000	5/10
5月26日(日)13:00~ 5月27日(月)10:30	宮城	共通	選択	行動形成法ワークショップ& 被災地復興応援ツアー付き	松島ホテル壮観	10	¥29,000	5/10
6月8日(土)13:00~21:00 6月9日(日)9:00~15:00	沖縄	共通	選択	行動形成法ワークショップ	カルチャーリゾートフェストーン	9	¥24,000	5/24

## ○連携講座○

(研修単位が取得できます。申し込み先が異なりますのでご注意ください)

日時	場所	課程	科目	研修名	会場	単位	参加費
2月14日(木) 3月14日(木) 4月15日(木) 5月9日(木)	千葉	共通	選択	柏ケア・カウンセリング市民講座	柏市中央公民館 申込・お問い合わせは NPO法人アロハート TEL04-7149-8882	1	¥2,000

研修のお申込は便利な WEB申込 をご利用ください。WEB申込の方で  
受講証の受取を「メール」にした場合、また受講証不要の方にはWEBポイントが付きます。  
<http://www.npojcca.org> →「研修予定・申込」へ  
電話・ファックス( 03-6912-2605 ) メール(npo-jcca@npojcca.org)でも受け付けています。

## 事務局からのお知らせ

### 【事務局電話受付時間の変更のお知らせ】

2012年12月1日より電話受付は、月・水・金の10時より15時までとさせていただきます。お急ぎの方はメールにてご連絡をお願いいたします。

## 東北応援ツアー第二弾決定!

2013年5月26日(日)~27日(日)松島ワークショップ後ツアー出発!

※ツアーのみの参加はできませんのでご了承ください。

☆松島ワークショップは、変則時間の開催です。

5月26日(日)13時開始 21時終了

5月27日(月)8時半開始 10時半終了

※参加費29,000円(チケットでお支払の場合:チケット10,000円+実費(現金)19,000円)

☆被災地復興応援ツアー (震災語り部ガイド付き)

5月27日(月)11時ホテル出発(お昼のお弁当持参<お茶付きで1000円>当日各自から集金)移動のバス  
内で、語り部ガイドの話を聞きながら昼食。

ホテル—多賀城—仙台港—荒浜地区—名取閑上地区—閑上さいかい市場—15時仙台駅解散

※遠方からお越しの方々に配慮し、復興市場での食事は見合わせました。(時間短縮の為)

どうぞ機会がありましたら、一度東北の地を訪れてみてください。

5月は、新緑が綺麗な、とてもいい時期です。